

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

平成31年2月実施

事業所名 児童発達支援 みつばち

保護者等数（児童数）19 回収数15 割合 78.9%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 ・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2	0	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	14	0	0	1		今後さらに専門職員の配置増を目指していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	12	2	0	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で児童発達支援計画が作成されているか。	13	2	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	2	0	0		個別支援計画の様式をガイドラインに沿うように修正し、さらにわかりやすく示せるようにします。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	14	1	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	13	1	0	1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	8	1	2	4		行事等の中で交流の機会をつくっていきます。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	15	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか。	15	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか。	7	4	2	1		30年度は1回のみの実施でした。継続して実施できるように計画していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	12	2	0	1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	13	2	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか。	7	4	1	3		30年度の保護者交流会の実施は2回でした。今後機会を増やしていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	13	2	0	0		発達相談等の日程について早めに周知できるように調整していきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	13	1	0	1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	13	1	0	1		
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	13	0	0	2			

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	3	1	6		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	5	3	1	6		30年度は事業所全体で2回の実施でした。今後参加できる機会を増やしていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか。	10	4	1	0		訓練的な要素を持ちながらも、楽しく通所していただけるように一層努力していきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか。	13	2	0	0		ご意見を頂きながら更に支援の向上を図っていきます。